



発行所
社団法人
神奈川県造園業協会
横浜市中区常盤町2-10
伸光ビル2階〒231-0014
電話 (045) 662-8793
662-1767
FAX (045) 662-4381
年間購読料 3,150円
(郵送料を含む)
ただし会員の購読料は会費に含まれています。



http://www.kanagawazoen.or.jp

年頭のあいさつ

(社)神奈川県造園業協会会長
岸 本 和 好



新年明けましておめでと
うございます。

会員の皆様におかれまし
ては、新たな希望と抱負を
胸に新年を迎えられたこと
と存じます。年頭に当たり、
皆様のご健康とご多幸を心
からお祈り申し上げます。

昨年、震災からの復興
と原発事故の収束という
大きな課題を背負ってのス
タートとなりましたが、現



在もなお三十万人を超える
被災者の方々が、住み慣れ
た土地を離れ、全国各地で
避難生活を余儀なくされて
おります。

一日も早く元通りの生活
に戻れるようお願いしつつ、よ
り積極的、効果的な復興支
援への取り組みを、政府には
期待したいところであります
。政治の混乱・景気の低
迷と日本全体が出口の見え
ない閉塞感が漂う中で、昨
年のロンドンオリンピック
において過去最多のメダル
を獲得した日本選手団の活
躍や、山中伸弥教授のノー
ベル賞受賞、国際宇宙ステ
ーションで日本人最長時間の
船外活動を行った星出彰彦
宇宙飛行士など、世界を舞
台に活躍する日本人の姿に
は、勇気づけられた方も多
かったのではないで
しょうか。その中で
星出氏は「この美し
い惑星に生まれてよ
かった」と感想を述
べておられました。

未来の人々が皆そ
う言えるように、美
しい地球を守って
いかなければなりませ
ん。

地球環境を守る為
に最も重要な緑に携
わる私共の役割は、

今後ますます大きなもの
なって参ります。

本年、当協会は公益法人
制度改革に伴い、一般社団
法人神奈川県造園業協会と
して、新たにスタートいた
します。

民による公益の増進に寄
与する担い手として、関係
官庁とのより一層の協力関
係を築き、「かながわのみ
どりを創り、育てる」スロー
ガンのもと、二十一世紀に
おけるみどり豊かな人に優
しい社会環境づくり、地域
づくりに貢献して参る所存
であります。

私共造園業は、日本の伝統
文化の一つである日本庭園の
技術・技法を学び、後世に伝
えていく使命がある一方、都
市緑化・震災等を教訓として
防災対策や緑豊かな都市環境
の整備等緑化の推進に積極的
に参画し、災害時における支
援、各土木事務所と災害協定
の締結、災害への対応のため
の防災公園の設置等緑地の保
全と緑化の推進に努力してま
います。

また校庭の芝生化及び管
理については、みどり議員
連盟との勉強会や校庭芝生
化プロジェクトチームの積
極的な活動により校庭芝生
化の事業促進と普及を期待
している所です。

これからも困難を乗り越越
えていくためには、これま
で以上に改善と合理化を図
るとともに、部会・委員会
が研鑽を重ね新分野の開拓
と技術の向上を図っていく
ことが重要であります。

様々な課題に取り組み協
会・業界発展のため今後と
も努力して参りたいと存じ
ます。

どうぞ皆様の一層のお力
添えと関係各位のご指導ご
鞭撻のほどお願い申し上げ
ます。



「いのち輝く マダネット神奈川」 の実現に向けて

神奈川県知事
黒 岩 祐 治

新しい年が皆様にとって
幸多きものとなりますよ
う、心からお祈り申し上げ
ます。皆様には、それぞれ
新たな抱負や願いを胸に新
春をお迎えになったことと
存じます。私も、県政運営

に全力を挙げていく決意を
新たにしております。

昨年は、私が掲げた「い
のち輝くマダネット神奈
川」の実現のために、総合
計画「かながわブランドデ
ザイン」をお示しし、その
実現に向け、総力を挙げて
取り組んでまいりました。「ピ
ングレスキューかながわ」医
療のブランドデザイン、「い
のちの授業」など、全国の
先駆けとなる新たな政策
「神奈川モデル」にも圧倒
的なスピード感を持って取
り組んでまいりました。今年も
こうした取り組みを積極的
に展開してまいります。

特に今年は、「健康寿命」
を延ばす取り組みを積極的
に進めてまいります。県では、
高齢化が全国平均を上回る
スピードで進むと予想され
ています。そこで、ここ神
奈川で、この問題を解決す
るモデルをつくりたいと考
えています。みんなが長生
きしてよかつたと思える明
るい神奈川を実現するには
「健康寿命」を延ばすこと
が重要です。そして、その
鍵を握るのは「食」です。
私がかねてから「医食同源」
に、食材を育てる「農」を
取り込んだ「医食農同源」
という健康観を提唱してき
ました。地産地消をはじめ
食材の効能を生かす食のあ
り方など、病気になるない
体をつくる取り組みを進め
ていきます。

将来の展望を開き、活力
ある地域を築いていくため
には、経済のエンジンを回

すことも不可欠です。

これまでも、太陽光発
電の普及に向けて、「かな
がわソーラーバンクシステ
ム」をスタートさせたほ
か、全国に先駆けて県有施
設で「屋根貸し」方式によ
る発電事業を開始しまし
た。まさに神奈川がエネル
ギー革命に火をつけ、この
取り組みは全国に広がって
います。そして、新たに1
月を「かながわソーラー月
間」と位置付け、「かなが
わソーラーフェア」などの
開催や販売店等と連携した
一斉キャンペーンに取り組
み、この動きを加速させて
いきます。

また、「京浜臨海部ライ
フイノベーション」国際戦略
総合特区において、グロー
バル企業による革新的な医
薬品や医療機器の開発・製
造と健康関連産業の創出を
図り、国際競争力の向上に
取り組んでまいります。

併せて、さがみ縦貫道路
沿線地域等において、福祉・
防災などさまざまな生活支
援ロボットの実用化を促進
し、関連産業の一大集積地
形成を目指してまいります。
さがみ縦貫道路等の自動車
専用道路が着実に開通でき

平成25年(2013年)
**神奈川県造園人
賀詞交換会開催の
ご案内**

恒例の神奈川県造園人賀詞交
換会は、下記のとおり予定して
おりますので、ご案内いたしま
す。

記

1 日 時 平成25年1月15日(火)
午後6時

1 場 所 ロイヤルホールヨコハマ

1 会 費 男性6,000円 女性3,000円
TEL 045-641-1122

平成25年(2013年)
謹賀新年

社団法人
神奈川県
造園業協会役員一同

るよう、整備促進を図ると
ともに、インターチェンジ
への接続道路などの整備に
ついても、積極的に取り組
んでまいります。

私は、活力ある商店街な
どを訪れる現場訪問や対話
の広場を通じて、次代を担
う若い人たちが、地域の個
性と魅力を生かし、地域を
活性化しようとする人々の
底力を感じています。そう
した県民の皆様を持つ力を
生かしながら、横浜・鎌倉・
箱根に次ぐ第4の観光の
核づくりを進めるため、民
間資本を誘引するような魅
力的な提案を募集していま
す。昨年、その第1号とし
て三浦地域の構想を認定し
ました。

また、地域の活性化や周
遊性を高めるためには交通
ネットワーク整備が重要で
あることから、道路網の整
備についても、着実に進め
ていきます。

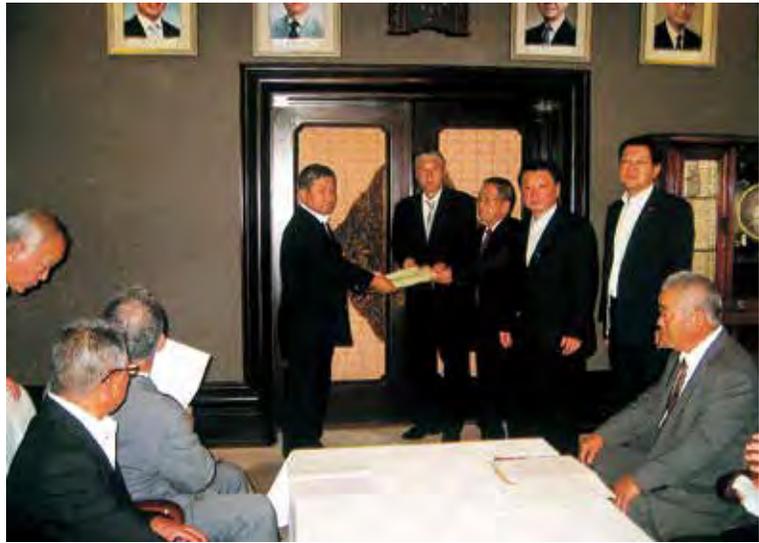
今後ともこうした地域を活
性化する取り組みを支援し
ていきます。

「いのち輝く」明るい神奈
川の未来を描けるよう、これ
からも斬新な施策を展開し
ていきます。引き続き皆様
のお力添えをお願いします。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|---------|-----------|----------|---------|----------|---------|---------|----------|-----------|-----------|----------|---------|
| 田澤 幸作 相談役 | 下田 勇 相談役 | 鈴木 一松 相談役 | 岸本 和好 会長 | 渡邊 宣昭 副会長 | 高橋 克明 副会長 | 小山 俊一 副会長 | 石川 龍二 副会長 | 瀧川 隆雄 理事 | 川原 正行 理事 | 今西 稔 理事 | 倉本 澄夫 理事 | 今泉 健寿 理事 | 小川 名真 理事 | 田野 井茂 理事 | 高橋 更一 理事 | 生駒 隆一 理事 | 長谷川 寿雄 理事 | 大胡 周一郎 理事 | 細野 仁 理事 | 笠原 三貴也 理事 | 目代 久典 理事 | 古川 香 理事 | 木村 義広 理事 | 原 茂弘 理事 | 富田 改 理事 | 甘利 憲一 理事 | 足立 原哲男 理事 | 松井 徹 専務理事 | 川田 秀一 監事 | 新倉 治 監事 |
|-----------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|---------|-----------|----------|---------|----------|---------|---------|----------|-----------|-----------|----------|---------|

「みどり行政に関する要望書」

神奈川県及び出先機関へ提出



古尾谷副知事に要望

(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、十月五日に古尾谷副知事並びに県土整備局長・環境農政局長を始めとする幹部職員に対し、平成二十五年度に向け、七項目について要望した。

要望事項として

- ①景気・環境対策として、また、計画的な社会資本の整備保全や災害への対応のためにも防災公園の設置等緑化関連公共事業予算の確保・増加と受注機会の確保について
- ②都市公園の整備や既存都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的な推進について
- ③三浦半島地域への国営公園の誘致活動の積極的な推進について
- ④公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設などのうち造園に関する整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し特定建設業種である造園専門業者に発注を、また、発注にあたっては公共工事の品質確保を図るため、工事実績、造園に関する各種資格所有者の技術力等の評価の考慮について
- ⑤一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路

樹剪定士を下請けではなく、元請けの条件として仕様書の明記について

⑥校庭及び園庭の芝生化の推進を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工事の造園工事専門業者への発注をお願いしたい。

公園整備については、防災やユニバーサルデザイン、安心安全、環境に配慮した公園の再整備を進めていく。工事の内容等考慮して可能な場合には分離発注に努める。総合評価方式では、「企業の技術的能力」や「配置予定技術者の技術的能力」を評価している。街路樹剪定士を元請の条件にすることに、今後の動向を見ながら検討していく。不良不適合業者の排除については、建設業許可審査で営業所の写真や建物等の所有や賃借を証明する書類の提出を求めるなど審査を厳格に行いますとの回答がなされ、災害協定については知事と締結しているが、各土木事務所と締結できていないので支援尽力をお願いした。



県土整備局長に要望

た。

ヒアリングの中で、県では校庭の芝生化について、養護学校二十六校の内十二校について芝生化を図り、県立高校についても計画推進課で平成二十一年度からグラウンドや中庭等の芝生化の施行を実施しており、横浜国際高等学校等校庭全面芝生にも取組みを始めている。森林整備基本研修に造園の方も多数参加されており、引き続き森林整備にご尽力をお願いしたい。

これらを踏まえて十月二十三日・二十四日の二日間、二十一年箇所に要望を行った。

にわたり横浜川崎治水事務所・各土木事務所等県土整備局十二箇所、自然環境保全センター・湘南地域県政総合センター等八箇所、企業庁水道局寒川浄水場等

刈払機取扱安全衛生教育講習会を開催

昨今作業における安全確保が強く求められる中、事故や災害を未然に防止する

ため、刈払機の適切な取扱等の安全衛生教育講習会を実施しました。



座学



実技作業

当日は、朝九時から午後四時まで関係法令や刈払機の構造・機能・取扱説明・振動障害予防・点検整備等の座学と実技作業を行いました。

日時 平成二十三年九月二十日

会場 日産スタジアム内横浜市スポーツ医科学センター

参加者 六九名



環境農政局長に要望

注について

⑦不正行為の防止と不良不適合業者を排除するため業務実態調査の強化と調査結果の入札制度への反映について

前記七項目を造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れ

第三十三回「よこはま技能まつり」が十月十四日(日)に横浜公園で開催され、神造協をはじめ三十団体の市内の技能職団体が参加し、日頃から磨いているものづくりの職人技を発表・展示し、横浜の技能の素晴らしさを披露し、訪れた人々の称讃を受けていました。

展示・実演として、①造園・園芸相談②横浜マイスター・会員による作品ミニチュア・庭園写真③一・二

第三十三回「よこはま技能まつり」が十月十四日(日)に横浜公園で開催され、神造協をはじめ三十団体の市内の技能職団体が参加し、日頃から磨いているものづくりの職人技を発表・展示し、横浜の技能の素晴らしさを披露し、訪れた人々の称讃を受けていました。

取り組んでいました。技能まつり等の一つの取組みが伝統的技術の継と拡がりにつながらばと思います。



四つ目垣繩の結び方指導

第三十三回「よこはま技能まつり」に参加



級技能検定モデル写真や技能検定講習会・実技試験風景写真展示④竹の花器展示及び作成・花のタネ無料配布⑤四つ目垣根の結び方実演を行いました。

四つ目垣の繩の結び方実演には多くの方が関心を示し、関係者の指導を受けながら和気あいあいと

災害時における事業 継続計画 (BCP) 作成講習会開催



発動例：(株)丸本組

テーマ

「BCP作成のポイント」

- ・重要業務を中断させない、中断しても早急に再開させる事前計画の策定
- ・事業継続計画の検討・作成手順等の説明の後参加者全員でBCP作成演習を行い大変有意義な講習会でした。

参加者 二十五名

テーマ

「神奈川県のBCP支援について」

講師 神奈川県中小企業支援課主査 濤岡 寿子氏

内容 神奈川県におけるBCP作成のノウハウ・情報・人材の提供・融資制度等について説明

テーマ

「想定される緊急事態とBCPの必要性」

講師 中小企業診断士 菅谷 宏氏

内容

- ・地震でサプライチェーンが切断された事例
- ・事業継続計画とは
- ・防災計画と事業継続計画の違い
- ・BCPは経営資源が蒙ったダメージで考える
- ・災害に対しては、災害別に対策を講じる
- ・神奈川県が想定する地震と津波
- ・どんな事業継続計画を作成したらよいか
- ・造園会社の事業継続計画
- ・緊急対応・事業継続の全体手順
- ・東日本大震災でのBCP

質疑応答でBCPを作成した場合、制度として評価されるのかについて質疑があり、現在評価制度はないが県のホームページに登録され公表されるので企業の社会的地位や信頼が高まるメリットはあるとのことでした。

樹木取引・流通市場視察研修会開催

十一月七日に樹木・資材委員会にて千葉県の樹木生産事業所と植木取引市場の視察研修が実施され参加者は

十一月七日に樹木・資材委員会にて千葉県の樹木生産事業所と植木取引市場の視察研修が実施され参加者は

では地植ではなくポットに類の生産を行っており、園緑化を訪れました。ここ



ポットによる植木生産



マキの仮置き



セリ荷



セリ状況

次に、農業組合法人成田ナーセリーを訪れました。昨今ソーラーパネルの普及により屋上緑化が減少している中、壁面を短期間で緑化する多種類の長尺つる植物の生産に取組んでいるお話を伺い有意義な研修となりました。

かなりの数のマキが圃場に仮置きされており、話を伺ったところ一割の手付金で中国へ売却したもので二、三年後に引取りに来ると

のことで千葉県内の目ぼしいマキは中国に買占められている実態を目にして驚きました。次に、株式会社東金植物

取引市場を訪れました。荷も多く種類も豊富で活況があり、三重県等県外からも持ち込みされておりました。

協会の数少ない親睦会として第十二回目を迎えた今

今年は多くのみどり議員連盟の方々が参加の予定でしたが、衆議院の解散によ

かながわのみどり議員連盟 嶋村幹事長優勝



会長挨拶

第十二回 親睦ゴルフ 県大会の開催



年のゴルフ大会は、十一月二十日参加者六十六名で、清川カントリークラブにて行われました。当日は穏やかな、雲一つない秋晴れの中気持ちよくプレーを楽しんでいました。

距離は短いグリーンが速くパットに苦しんでおりスコアは全体的に厳しいものがありません。

優勝は嶋村ただし氏(のみどり議員連盟幹事長・準優勝は曾根忠和氏(県北支部)・第三位は川原正行氏(港北支部)が入賞し、栄えあるベストグロス賞はグロス七十二で、曾根忠和氏が準優勝とダブル受賞となりました。



かながわのみどり議員連盟 嶋村幹事長優勝

国際園芸博覧会フロリアード・オランダ・ベルギーを巡る 第6回海外研修会に参加して

(株)東開造園土木 岡部 一郎

「第6回神奈川県議会議員松田よしあき先生と行く海外研修会」は8月24日(金)から30日(木)までの日程で神奈川県造園業協会と先生の後援会の方々、総勢12名で10年に一度オランダ(今回はフェンロー市)で開催される世界最大の国際園芸博覧会フロリアード

2012を視察し、オランダ・ベルギー各地を巡るものでした。

出発の前週末までオランダでは記録的な猛暑で、旅行中も暑さを覚悟していましたが出発の数日前には平年並みの気温になったとの情報が入り、ヨーロッパではもう涼しくなる時期だろう

など思っていました。

出発当日、成田空港に集合しチェックインカウンターへ向かうと今まで体験したことがない程の混雑ぶりです。完全に進みません。

聞けば前日の最終便が機体トラブルで欠航となりその便の乗客もいたことで混雑しているとのこと。結局

2時間近く並んで出発も1時間半遅れました。フライトでも遅れは取り戻せずスキポール空港に1時間20分遅れで到着、バスに乗り込みロッテルダムへ移動しました。ホテルに到着後、夕食まで市内を各々散策。パークスゾーンで町には人が溢れていました。ホテルでの最初の食事で自己紹介などをして長い1日目は終了。

2日目、若干雨模様で涼しい中、バスでフェンローに向かいます。フロリアード会場に到着。日本人の若手スタッフが会場を案内してくださいました。とても大規模な会場でロープウェイも通っていました。

フロリアード2012では「アップサイクル」が一つのキーワードとなっているとスタッフの一人が話していました。再利用し、より良い物にしていくことだそうです。

博覧会終了後は会場エリアに企業などを誘致する予定だそうです。時はEU不況、誘致が進まない場合半分は公園として残すことも検討しているようでした。

サンドイッチ等、同じような食事に飽きていると話していた日本人スタッフに何かお土産を持参すればよかったと後悔しつつ会場を後にしフェンロー市内のレストランで遅い昼食。その後、空襲から難を逃れた市庁舎や教会を見学しブリュッセルへ向けて出発。

ホテル到着後は夕食まで散策、グラン・プラス(世界遺産)を見てホテルに戻りました。夕食はビールの飲み比べに始まり、前菜にサーモンのタルタル・コクナツソース、タラの焼き物クリームソース添え、デザートにチョコレートケーキ・ベリーベリー添え。食べ過ぎです(笑)。

再び夜のグラン・プラスへ向かい美しい照明に浮かび上がったグラン・プラスの広場はとてにぎやかでした。ここでも少し寒い中、ビールを堪能しホテルへ戻りました。



フロリアード駐在事務所長と意見交換の後記念写真

「国際園芸博覧会」ということで草花中心のイメージがありました。思った以上に樹木も多く利用していました。各ブースを回りましたが、日本国政府出展ブースはなかなかの人気で絶えず多くの見学者がいました。



フロリアード会場入口



フロリアード会場風景



フロリアード会場風景



3 日目、朝から雨模様、気温も低く寒いくらいでした。歩いて「小便少女」、小便小僧”を見て戻ろうとした時に雨が強くなり雨宿り、10 時 30 分に GODIVA 本店前に集合で自由行動となったので隣のカフェでホットチョコレートを飲んで温まりました。

その後アントワープへ移動。大雨が降り出しましたがレストランに到着後だったので濡れずに済みラッキーでした。地ビールと旬のムール貝をいただき、メインは牛肉の煮込み。ムール貝は絶品でした。

4 日目、ブルージュ市庁舎を見学後、街を散策して見ると聖母教会でミケランジェロの「聖母子像」に出会うことができました。キヤナルクルーズで運河から街を見学し昼食はチコリのグラタン、おいしかったです。その後キンドルダイク（世界遺産）へ移動、19 の風車を確認後アムステルダムホテルへ移動。

5 日目、ユトレヒトのミッフィの作者ディック・ブルーナ・ハウスを見学後、デハール城・ハールズレイクスで昼食。アムステルダムに戻り、飾り窓などを見学後、夕食をとり 5 日目終了。

6 日目、アムステルダム国立美術館を見学。フェルメールの何点かはちょうど日本に行っていて見ることができず残念でしたが、他のフェルメールやレンブラントの作品を間近で見ることができ、写真撮影も OK で感激しました。その後市内を観光しながら昼食を取りスキポール空港から帰国の途に着きました。



日本庭園



ベルギー・ブルージュ ノートルダム教会 ミケランジェロ「聖母像」



ベルギー・ブリュッセル グランプラス



ベルギー・ブリュッセル 小便小僧



オランダ・エルハウトの風車群



ヨハネス・フェルメール「牛乳を注ぐ女」アムステルダム国立美術館



ベルギー・アントワープ ノートルダム大聖堂のルーベンス祭壇絵

くすのき保育園園庭芝生化プロジェクトを終えて

株式会社 きたむら園 北村 善輝

今回、公園緑地部会 校庭芝生化プロジェクトチームのメンバーをはじめ多くの方のご協力をいただき、くすのき保育園園庭芝生化工事を現場中心の立場で施工出来たことをはじめにお礼申し上げます。

5月28日に保育園の先生、園児、保護者の方々と共にポット苗の作成を始めました。ポット苗を作る時に園児にどのようにして教えるかが最初の問題でした。培養土をポットに入れ芝苗を入れる、我々造園に携わる者なら当たり前に思える事を小さな園児に伝える事が出来るか不安でした。実際作業を始めると不安は一瞬でなくなりました。園児が泥んこ遊びの感覚で楽しそうに遊んでいるのを見て、一人ひとりの予定の分を終えてもどんだら次のポット苗を作る姿がとても印象的でした。園児に1鉢ずつ家に持ち帰ってもらい、苗の植付けまでの間苗を育ててもらおう事にしました。

現場の土壤改良を行うに当たっては、掘削に際し土壌が固い、不要なガラ的大量発生、既存のレベルの調整等がなかなか思うように作業が進みませんでした。予定の工期に間に合わず、園長先生にお願いしたこともありました。芝生を植栽する下準備が完成し、7月24日に園児たちが《芝生の赤ちゃん》と呼んで大事に育ててくれた苗も含め、約3千ポットの苗を園児と共に植付け、また、撒き芝、筋芝の2パターンをプロジェクトチームにおいて試験的に施工しました。

当日は、松田良昭県議もこの作業に参加して頂き、また視察されるとともに、色々とプロジェクトメンバーに質問され、園庭・校庭芝生化の関心の高さが私たちメンバーにも伝わって



芝の上で楽しそうに遊ぶ子供達



園児のポット苗植付け



芝生の上で組体操

きましました。後は開園までの養生期間でしたが、生育はどうなのか何度が足を運んでいきましました。チームのメンバーが確認していただいた事、同じ認識でいたことが改めて今回のプロジェクトの大事さを痛感しました。

大袈裟な考えかもしれませんが、せんが、施工の立場として、プロジェクトチームの一員として失敗は今後の芝生化事業に大きく左右される問題と考えていましたので余計に肩に力が入ってしまった事を思い出します。

生育した状態の後に園児が素足で走り回れるようメンバーにて小石を十分拾うことも重要な作業でした。開園前に状態を確認した際、立派に成長してくれ「みどりの絨毯」になった時は本当に安心しました。

オープニングセレモニーには松田県議、造園協会の方、岸本会長も出席していただき、取材の方も訪れるほどの盛会でした。セレモニー時の園児の嬉しそうな笑顔はとても素敵に思えました。自分で頑張った事、可愛がって育てたからこそ余計に嬉しかったのではないかと思います。

芝生の上で園児が組み体操を披露してくれた時はたくましさを感じ、素足で芝の上を走り、遊ぶそのいど、使える芝が少しでも多く増えることが大切な事だと思えます。

今後園庭芝生化が多く普及され、県土に良質なみどり、使える芝が少しでも多く増えることが大切な事だと思えます。

この講習会は、農業散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所が共同認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会で出席者には、「修



芝生の大切さとポット苗の育て方を説明

きいことした表情は忘れる事はないと思います。芝生も園児に負けないようにたくましく育ってくればよいと思います。

園長先生、先生方、チームの皆様のご協力が無ければこのようなことは出来なかつたかと思えます。不安や苦労はもちろんありましたがプロジェクトチームのメンバーと施工出来たことをとても光栄に思えます。

同じ年頃を持つ親として、笑顔いっぱい元気いっぱい姿を見るのが何よりもの報酬かなと思えます。

今後園庭芝生化によって、たくさんの子供達が芝生に触れてくれることが大切な事だと思えます。ほんの小さな物作りかもしれませんが、過程を知ること大切さがわかるのではないのでしょうか？

●会員名簿の変更● (平成23年度名簿)

住所変更

○県央支部 中央道路株 (会員名簿P.68) 〒243-0433 海老名市河原口2-29-2

代表者変更

- 横浜中央支部 (株)植勘 (会員名簿P.47) 代表者 江原純夫 → 江原勲
○川崎南支部 タイシ造園株 (会員名簿P.50) 代表者 齋藤三郎 → 関根忠和
○金沢・磯子支部 (株)金沢臨海サービス (会員名簿P.45) 代表者 青木利之 → 片岡良二

入会

- 賛助会員 (有)松田興業 緑山ガーデンリサイクルセンター 代表者 松田和夫 〒215-0027 川崎市麻生区岡上1286-4 TEL044-981-3356 FAX044-981-3355 本社・稲城残土センター 〒206-0822 東京都稲城市坂浜2207-1 TEL042-331-9522 FAX042-331-9527
○やまびこ東部株 代表者 林智彦 〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2 TEL0428-32-1091 FAX0428-32-1104

事務局情報

(月間行事一覧) ●諸会議その他●

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes dates like 12/1 (土) 造園技能士コース (第8回) and 1/7 (月) 御用始め 新年造園人の集い.

病害虫防除講習会 開催のご案内
農業の適正使用と安全管理・人の健康や環境リスクに配慮した樹木の防除技術について

表彰コーナー
了証」が発行されます。希望者はFAXにて事務局に申し込み下さい(申込用紙あり)
表彰者: 神奈川県 卓越技能者 荒川昭男 (有)庭工荒川 優秀技能者 高橋更一 小島造園株 渡部定男 (有)植定 青年優秀技能者 持田智彦 庭乃持田園(有) 松野隆博 (株)笹山植木 横浜市 技能功労者 前田湯孝 前田農園 池田馨 (有)池田造園 小川芳夫 (有)原造園 細野仁 (有)細野植産 優秀技能者 実川吉雄 (株)早坂緑化 北村光清 (株)きたむら園 大胡隆典 植周造園株 神奈川県職業能力開発協会 技能検定功労者 小川芳夫 (有)原造園 篠塚靖彦 緑栄造園土木(株) 表彰者: 川崎市 佐藤剛 (株)佐藤造園 松島由四郎 (有)松島造園 優秀技能者 本多研一 川崎工苑建設(株) 横山竜治 (株)横山造園 優秀青年技能者 大澤省二 南武造園建設(株) 三家恵吾 (株)みつや園 江田守英 (株)村瀬造園

支部だより

湘南東支部 教育研修委員

三井 悠示

屋久島、縄文杉 見学研修

湘南東支部では毎年巨木見学会を行ってまいりました。

二十四年度は屋久杉を見に行く計画を立てました。

参加者は湘南東支部会員及び社員十三名、他支部より一名、お客が一名の計十五名でした。

四月十二日より三泊四日で羽田八時五分発、鹿児島九時五五分着、鹿児島十時四十分発の小型機で屋久島十一時十五分に到着しました。

現地はさわやかな初夏のような快晴にめぐまれ一日目はレンタカーに分乗し島を一周しました。

島は周囲132kmです。



ガジュマルのトンネル



千尋の滝



ヒメシヤラの大木



縄文杉の前で

屋久島はおよそ1550万年前に海底より隆起し全島が御影石でできています。島の南側は切り立った崖が海からそそり立っています。途中でガジュマルの大きな木が川のほとりにありました。二株のくっついてしまったような株は幅が10m程で真ん中を車が通り屋敷門のようです。千尋の滝は雨の後で大変な水量です。滝に向かって左側は100メートルもある御影石の一枚岩でできています。

2日目は朝4時半にホテルまでガイドが迎えに来てくれて5時に荒川登山口よりスタートして縄文杉に向かいました。このトレッキングは往復十三時間程で距離は二十二キロです。健脚向きコースということですがゆつくりと行けば普通の人でも大丈夫のようです。道はトロツコ道で枕木の上を延々と歩きます。両脇にはウラシマ草が咲いていま

した。有毒植物なので屋久鹿も食べないでしょう。屋久鹿は小型で親になっても中型犬ぐらいで人と出会ってもすぐに逃げることもないです。サクラツツジの薄いピンクの花が数輪をつけています。リンゴツバキと呼ばれるやぶつばきの実が重たそうに垂れています。実はピンポン玉ぐらいあり赤紫のきれいな大きい実ですが中の種は小さいのと、これも旨くないのか屋久猿もたべないとのこと。それから、四十分程谷川ぞいのトロツコ道を進むと開けたところに出ました。そのあたりは大正から昭和四十年ごろにかけて盛んに伐採がおこなわれた村の跡で600人程住んでいたよう

で小、中学校もありました。沢と反対の林の中に直径5m以上の苔むした杉の切り株が現れてきました。屋久杉と呼ばれる木は樹齢1000年以上のもので、1000年未満のものは小杉とよばれています。多くの杉は下から4mから5mのところまで切られその上に何本も300年以上の木が立ちあがっていて中には三代杉と呼ばれるものもあります。トロツコ道が終わるとかなり急な登りと急な下りの連続で石や根の上を歩いて1時間程でウイルソン株に到着します。私は両手にストックを使い体のバランスをとることができて大変よかったです。

朝は曇りでしたが昼頃には雨となり昼食は傘をさして沢の脇でホテルで作ったもちもち弁当を食べました。雨の中でも寒くはなくこれが屋久島なのだと思える機会でした。ガイドが屋久島の登山ほどの沢の水も飲めるので水筒を持たなくとも大丈夫と言っていました。確かに水筒の水は飲まずに済みました。

三日目は白雲水峽を下レッキングしました。上り始めてすぐそこは10m程のイスノキの林で、その下にはハイノキの林となっていて、花の時期には素晴らしいことと想像しました。

三日間の滞在は屋久島のほんの一部を垣間見たというだけで何度か来て見たくなる気持ちがよくわかりました。同じ宿に泊まり長い山道を共に行動することで会員の親睦が大いに高められました。そして次はどの世界遺産に行こうかと話が盛り上がりました。

**三支部合同
農業研修会
情報委員
前田 陽介**

港北支部、神奈川支部、鶴見支部では、隣接する支部同士の交流を深めると共に、一支部では中々実現する事の出来ない規模の研修会を毎年行なう様努めています。

今年、港北支部、青木治副支部長に幹事を務めていただき、9月29日、JA横浜きた総合センターにおいて、講師にJA横浜 森

昌一氏、来賓講師として、日本農業株式会社 淵田智一氏、シンジェンタ ジャパン株式会社 溝上康氏を迎え、農業研修会を行いました。

まずは、会場手配等、ご協力をいただきました。JA横浜 森昌一氏により、農業の適正使用について、また防除器具(動力噴霧器)の正しい洗浄方法などについて、詳しくご説明いただきました。

その後、「農業が出来るまでの流れ」「農業の安全性評価について」その他、「耐性菌の発生メカニズム

と対策について」「クレームを少なくする農業散布について」など、専門家お二人によるご指導をいただきました。質疑応答の場も設けていただき、展着剤の適正使用方法や、新商品の説明など、より一層、私共が適正使用出来る様、ご指導いただきました。

充実した内容により、知識向上する事の出来た研修会は、港北支部 川田秀一支部長の挨拶により閉会しました。

懇親の場では、親睦を深めると共に、さまざまな環境変化に伴い、新しい農業が開発される中、造園業者として常に新しい知識を持ち、適正使用に努めなければならぬと強く感じました。

また、共に協力し、さまざまな研修の場を設け、造園技術の向上と、日々変わる情報の習得が必要であると改めて認識する事が出来ました。



港北支部川田秀一支部長あいさつ



懇親会風景



向かって左より、淵田智一氏、溝上康氏、森昌一氏



研修会 (質疑応答)



鶴見支部青年部庭園見学会

鶴見支部青年部長 瀧川 佳広

鶴見支部青年部では、本年度より当協会鶴見支部に所属する、各事業所の従業員においても、任意により、青年部員とし、造園家として技術向上、知識向上に努める事としました。

その記念すべき第1回目として、都内の庭園見学会をおこないました。

9月30日、出席者22名にて六本木ヒルズの毛利庭園、清澄庭園、浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園を巡りました。

各庭園では、修景物の据え方や石組の技法などについて、当時の作庭家の心意を想像しながら学びました。

また、江戸の庭園で現在でも唯一、潮人(汐人)の方法を取り入れている浜離宮では、造園の勉強の為訪

れたという事で、専門知識の高いボランティアガイドさんを付けて頂きました。

庭園内を詳しく説明して頂き、雑談を含め、当時、池の水を確保する為の遣水の方法や、曲水との違いなどについて語り合い、共に勉強する事が出来ました。

実はこのガイドさん、都内の造園会社に勤めている方で、自らの勉強の為、休日はボランティアガイドとして活動しているそうです。

私共も志の高さに良い刺激を受ける事が出来ました。

庭園見学を終え、地元鶴見区内において、反省会を含み、懇親の場を設けました。

和やかな雰囲気ですべての事を深められた中、今回の見学を経て、私共の時代、造園の勉強をしていく上では、とても恵まれていると感じました。

当時、簡単に見る事出来ない庭園を見学出来る事や、写真、文章などによる多数の資料、これは諸先輩方の努力による結果だと強く感じました。

この事実には甘んじる事無く、私共もさらに勉強し、少しでも次世代へ継承出来る様、努力していくと結束を固める事が出来ました。

今回の見学会にご協力いただきました各事業所様、ありがとうございます。

青年部一同、造園業界繁栄の為、少しでも協力出来る様、努力して参りますので、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

第7回合同植木供養祭

千鳥造園工事(株) 遠藤 光哉

十月九日(火)午前九時半から、神奈川県造園業協会川崎南支部・川崎北支部・川崎市造園建設業協同組合の3団体合同により川崎大師平間寺境内で、第7回植木供養祭が行われました。

昭和五十一年十一月、当時の川崎支部では、緑と共に生きる造園業者として「植木供養之碑」を建立し、川崎大師平間寺境内にイチョウを献木しました。以来五年ごとに供養祭を行ってきています。

供養祭では、川崎大師平間寺貫首藤田隆乗僧正を導師に厳かにとり行われました。

導師は法話の中で、「日本では古くから、あらゆるものに魂が宿ると考え、大切に、感謝してきました。」など、お話をさ

れました。我々造園業者としては、やむを得ずに生命を絶つ伐採時にはもちろん、剪定をはじめ管理においても樹木は生き物であるということを常に心に留めて向き合うことが大切だと改めて考えさせられました。

ちなみに、この碑の背面には、建立当時の組合員七十八名の氏名が刻まれ、碑の添え書きに「古代よりよ

づ枯死せし 樹乃精を 御山に集い 皆で弔う」とあります。



水辺に咲くヒガンバナ 清澄庭園



青年部員とOB 清澄庭園



三百年の松 浜離宮



ボランティアガイドさんの説明を熱心に聞く部員たち 浜離宮

きた。導師は法話の中で、「日本では古くから、あらゆるものに魂が宿ると考え、大切に、感謝してきました。」など、お話をさ



植木供養



目代川崎市造園建設業協同組合理事長挨拶



講話

Bridal Banquet Stay Restaurant

ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地

お問合せ 045-641-1311

http://www.yokohamagarden.jp



YAMABIKO KIORITZ slinkuri 新着機

やまびこの造園緑地機械

2日間限りのお買得品
掘り出しもの処分市
お楽しみゲームコーナー
お役立ちコーナー設置
ご来場記念 オリジナルジャンパー

日時 2013年1月18日(金)・19日(土)
場所 やまびこ本社(特設会場)
ご来場のご希望は、県下やまびこ製品取扱店までお問合せ下さい。

木くず・枝葉・根受入れ
残土受入 2t・3t・4t・7t
庭石処分 (天然石のみ)

山砂・赤土・黒土・砕石販売・残土処理・重機レンタル

有限会社松田興業
緑山ガーデンリサイクルセンター
川崎市麻生区瑞上1286-4
電話 044-981-3356 FAX 044-981-3355

本社・稲城残土センター
東京都稲城市坂本2207-1
電話 042-331-9522 FAX 042-331-9527

お得意様限定! 良質残土も赤土好きなだけ プレゼン実施中!

地図等、詳しくはHPで

松田興業 検索

www.matsudakougyou.com